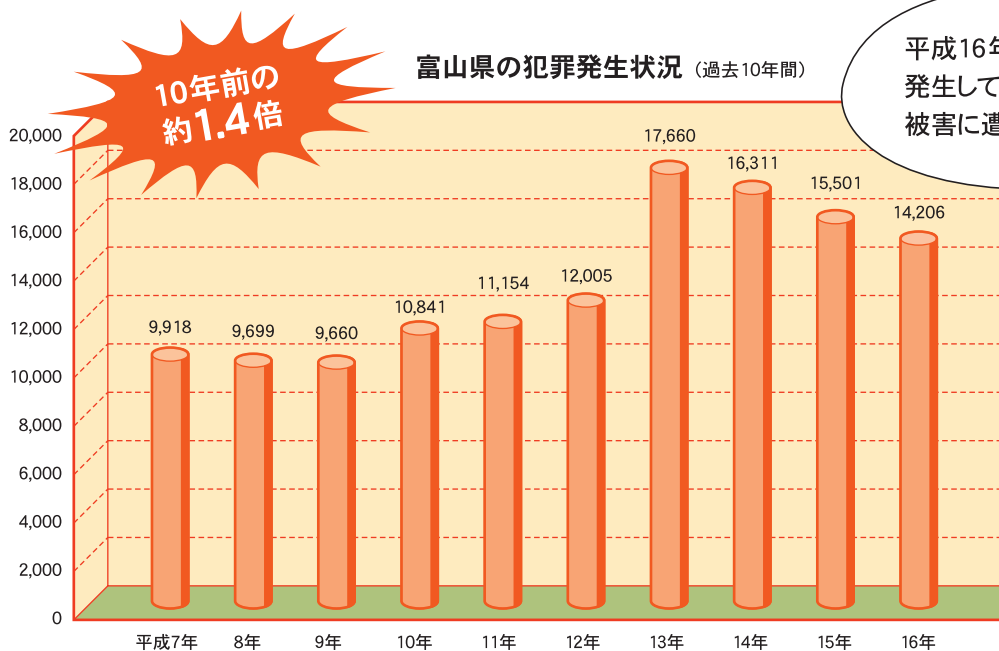


富山県の犯罪の発生状況



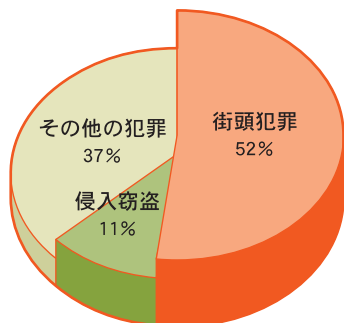
平成16年は14,206件の犯罪が発生しており、県民79人に1人が被害に遭っていることとなります。



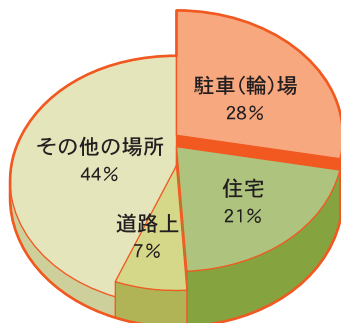
私たちの身近で起こる街頭犯罪や侵入窃盗

(平成16年)

街頭犯罪・侵入窃盗の占める割合



犯罪発生場所の割合



※ 街頭犯罪とは、道路、公園、駐車場等、屋外で発生する犯罪で、ここでは自動車等の盗難、車上ねらい、部品ねらい、自動販売機ねらい、器物損壊をいいます。

※ 侵入窃盗とは、空き巣、忍び込み、事務所荒し、出店荒し等、住宅等に侵入して行われる窃盗罪をいいます。

※ 犯罪発生場所の住宅は、住宅内だけではなく住宅の前に駐車してあった自転車の盗難なども含みます。

県民からの地域の安全確保に対する要望

平成16年8月に実施した世論調査結果によると、県政への要望として、凶悪犯罪の増加や低年齢化を受けて、「犯罪対策など地域の安全確保」が平成15年の6位(13.6%)から2位(20.1%)となっており、県民の安全に対する関心が高まっています。

《調査の概要》

- 調査対象／県内に住む20歳から79歳までの男女1,200人を対象にして実施
- 回答数／1,064人(88.7%)
- 調査方法／調査員による個人面接調査

世論調査 県政への要望 (平成16年)

1	景気対策	28.3%
2	犯罪対策など地域の安全の確保	20.1%
3	少子化対策・子育て支援	18.9%
:	:	: